

にぎわい通信

会員だより

令和4年度5月号「にぎわい通信」262号を発行しましたのでご案内いたします。今回は福井県坂井市、富山県射水市、におけるにぎわいの様子を紹介いたします。

2022年三国祭（北陸三大祭）

三国祭は約300年の歴史をもつ北陸三大祭りの1つで、5/19～5/21の3日間、坂井市三国町で行われました。5/19夜に「宵山車（よいやま）」が初めて行われ、伊達政宗をのせた「山車」1基が夜の街を巡行しました。

5/20の中日祭（ちゅうにちさい）では、3年ぶりに「山車」7基が三国神社前に集合し、コロナ禍を吹き飛ばすような勢いで三国町内を練り歩きました。長い歴史をもつ三国祭で活躍する大きな「山車」は毎年新しいものが製作されており、地元を盛り上げ、伝統を守っていく想いが受け継がれています。

福井県
坂井市



6.5mの巨大な山車（やま）

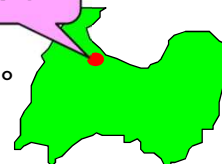


たくさんの人で賑わう様子

クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」 の寄港によるにぎわいの復活へ

令和4年5月13日（金）、日本クルーズ客船が運航する「ぱしふいっくびいなす」が伏木富山港（新湊地区）に寄港しました。富山県内にクルーズ船が寄港するのは、令和元年9月11日以来、2年8ヶ月ぶりとなります。

富山県
射水市



本クルーズは、神戸港を発着とし佐世保（長崎県）や室蘭（北海道）を經由し10日間で日本一周する行程です。富山県を巡るオプションツアーでは、新湊地域の内川周辺のまち歩き、富山黒部アルペンルート「雪の大谷」体験ツアー、富山市内の見どころと富岩水上ライン乗船、高岡市の瑞龍寺と高岡大仏が用意されており、多くの乗船客が参加しました。

感染対策をしながら入港式典やお見送りが行われ、クルーズ船の寄港再開によりみなとによるにぎわいが戻りつつあるようです。

